

■第2弾支援（支援活動実施期間：平成24年4月～平成25年3月）・・・約1200万円

活動区分	助成内容 (実施内容)	交付額(円) ()は予算	助成対象等
草原維持管理の継続	①繁殖あか牛導入	繁殖用あか牛の導入に対し、1農家1頭につき6万円を助成 (6,000,000) 4,920,000	82頭(農家)
	②野焼き(管理)放棄地の草原再生活動	野焼き(管理)放棄地(計18ha)での野焼きを再開する作業費の一部を助成 1,200,000	中無田原野管理組合有志の会(阿蘇市) 龍神牧野組合(阿蘇市)
	③草小積みの制作・設置と草原文化のPR	牧野組合の制作・設置費用の一部支援として、1基あたり5千円を助成 50,000	村山牧野組合(高森町)/10基
	④野焼き支援ボランティアの運営管理に関する活動	輪地切り(焼き)支援54回1105名 野焼き支援/52回998名/合計2103名 3,500,000	(公財)阿蘇グリーンストック
	⑤野焼き・輪地切り支援活動	10月参加学生10名3牧野支援やインタビュー。学内発表会。阿蘇での学習会は次年度予定。 120,000	Link ASO(兵庫県)
	⑥未利用草地の利用再開	未利用草地19ha55トン採草(オペ)。10ha(戸狩)。利用普及・採草再開に係る費用を助成 500,000	バイオマスオペレーター組合(阿蘇市)、 戸狩牧野(高森町)
様々な動植物が生息・生育する草原環境の再生	⑦草原に生息・生育する動植物に関する調査	3牧野で昆虫(チョウ類)生息調査。2目9科19種が確認。 150,000	寺崎昭典氏(熊本市) 阿蘇草原再生シール会
	⑧動植物の保全に向けた草原利用のPR	採草による草原環境への影響調査 設置調査区内に約22種の植物確認。 採草は約2.5ha、野草堆肥の原料に活用。 180,000	阿蘇草原再生シール会
	⑨草原環境学習の推進	小学生対象の生き物観察会を予定したが、7.12豪雨災害のため開催困難につき中止。パンフ代・通信費を支援。 (200,000) 66,000	なみのやすらぎ交流館(阿蘇市)
草原を守る担い手づくり(草原環境学習)	草原環境学習資料作成とプログラム試行を支援 ・阿蘇郡市河川流域界図 ・降った雨水の流れ解説図(紙芝居) 他マニュアル、プログラム作成、阿蘇地域4小学校で試行。 (190,000) 130,165	阿蘇火山博物館(阿蘇市)	
	阿蘇草原の出前学習(2校)とシンポジウム開催(250名参加)。阿蘇の自然の恵みと豪雨災害も含めた発表もあり。より自然に対する関心の広がり。 (120,000) 117,384	阿蘇火山博物館(阿蘇市)	
	県内小学校358校と市町村教育委員会など含めて400ヶ所に草原学習DVD寄贈。 県教育長へ贈呈式をメディアリリースして広報PRが行われた。 (450,000) 228,360	(公財)阿蘇グリーンストック(阿蘇市)	
	野草紙卒業証書づくり 阿蘇市内3小学校にのべ140名に「草原学習」「草原体験」「紙すき体験」実施。 400,000	九州バイオマスフォーラム(阿蘇市)	
	教職員対象の草原環境学習ワークショップを、参加者17名(欠席3名)を得て実施された。 (100,000) 95,000	国立阿蘇青少年交流の家(阿蘇市)	
計		(13,460,000) 11,956,909	▲1,503,091